



鈴木 秀治 (すずき ひではる) 教授

1948年（昭和23年）東京都台東区生まれ

学 歴

- | | |
|----------|------------------------------|
| 1972年 3月 | 東京大学文学部卒業 |
| 1974年 3月 | 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了（修士学位取得） |
| 1979年 3月 | 東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了 |

職 歴

- | | |
|----------|----------------------------|
| 1979年 4月 | 愛知大学教養部講師 |
| 1987年 4月 | 愛知大学教養部助教授 |
| 2006年 4月 | 愛知大学国際コミュニケーション学部教授（現在に至る） |

主な教育研究業績

《著書》

『講座・夏目漱石 第4巻—漱石の時代と社会—』	共著	1982年2月	有斐閣
『外国人による日本論の名著』	共著	1987年3月	中央公論社
『叢書比較文学比較文化4 東西の思想闘争』	共著	1994年4月	中央公論社
《学術論文》			
大正知識人の命運—大杉栄の場合—	単著	1975年11月	『比較文学研究』28 東大比較文学会
創造性は教育できるか—1989年度教養演習F 顧末記—	単著	1990年5月	『一般教育論集』第3号 愛知大学教養部
芥川龍之介『開化の良人』を読む—ブラウニング・漱石—	単著	1991年3月	『文学論叢』第96輯 愛知大学文学会
芥川龍之介とジュール・ルナール	単著	1991年7月	『文学論叢』第97輯 愛知大学文学会
P. ロチ『秋の日本』—秋の日本各地の風物を求める	単著	1995年5月	『国文学解釈と鑑賞』第60巻第5号 至文堂
木下奎太郎の欧米体験(1)	単著	2003年11月	『文明21』第11号 愛知大学国際コミュニケーション学会
木下奎太郎の欧米体験(2)	単著	2005年3月	『文明21』第14号 愛知大学国際コミュニケーション学会
木下奎太郎の欧米体験(3)	単著	2008年9月	『文明21』第21号 愛知大学国際コミュニケーション学会
木下奎太郎の欧米体験(4)	単著	2011年10月	『文明21』第27号 愛知大学国際コミュニケーション学会
木下奎太郎の欧米体験(5)	単著	2012年3月	『文明21』第28号 愛知大学国際コミュニケーション学会

《翻訳》

ジャック・サドゥール『現代SFの歴史』	共訳	1984年12月	早川書房
ピエール・ダルモン『医者と殺人者—ロンブローゾと生来性犯罪者伝説』	単訳	1992年5月	新評論
ピエール・ダルモン『癌の歴史』	共訳	1997年11月	新評論

《書評》

平川祐弘著『夏目漱石—非西洋の苦闘』	単著	1977年6月	『比較文学研究』31 東大比較文学会
F・G・ノートヘルファー著『幸徳秋水—日本の急進主義者の肖像』	単著	1982年3月	『比較文学研究』41 東大比較文学会
饗庭孝男他編『フランスの文学—〈知〉の新しい地平から』	単著	1984年8月	『基礎フランス語』1984年8月号 三修社

《辞典》

『小学館ロベール仏和大辞典』	共著	1988年12月	小学館
『新潮日本人名辞典』	共著	1991年3月	新潮社
『精神医学文献事典』	共著	2003年5月	弘文堂

《その他》

映画『モーリス』を論じて少女マンガ『日出処の天子』に及ぶ	単著	1998年1月	『文明21』創刊準備号 愛知大学国際コミュニケーション学会
------------------------------	----	---------	-------------------------------

Japanology について	単著	2003年 6 月	『韋編』No. 27 愛知大学図書館
個人的なあまりにも個人的なフランス文学体験—知られざる作家リラダン	単著	2006年10月	『LL ニュース』No. 33 愛知大学豊橋語学教育研究室
フランスの浮世絵師—アンリ・リヴィエール	単著	2009年10月	『LL ニュース』No. 39 愛知大学豊橋語学教育研究室
『海は燃えている—イタリア最南端の小さな島』（2016年、伊仏共作）を観る	単著	2017年 7 月	『Aichi University Lingua』愛知大学語学教育研究室